

合格体験記

神奈川県・大阪府(小学校)に合格 M.T.さん

Q なぜ教師を目指したのですか？

A 子どもが大好きで、将来は子どもと関わる職業につきたいと思っていました。デイキャンプのボランティアやスクールインターンシップを通し、子どもの笑顔をつくり、見守るという教師の仕事に魅力を感じ、教師を目指しました。

Q 教員採用試験に向けて

①いつから勉強しましたか？

A 去年の夏休み頃から徐々にスタートし、教職ナビの冬の合宿から本気で頑張りました。

②勉強する際、どのような教材を使っていましたか？

A 『教職教養Ⅰ』『教職教養Ⅱ』『一般教養Ⅰ』『一般教養Ⅱ』『一般教養Ⅲ』『小学校全科』の参考書(東京アカデミー)、『教職教養サブノート』(協同出版)、『教員養成セミナー』(時事通信社)、他、図書館で借りた問題集、教職ナビの先輩、先生方にいただいたプリント等を使用しました。

③息抜きの方法は？

A 友達と思い切り遊んだり、デイキャンプのボランティアで子どもと走り回ったりしました。

④眠気対策は？

A 友達に電話やメール、軽く運動、ラジオから流れてきた曲を熱唱などしていました。

⑤1日何時間勉強していましたか？

A 日によってばらつきがあり、0~14時間です。遊んだ時間×2を目安に、「休日丸一日遊んだら丸二日は勉強する」という感じでした。

⑥大阪府以外の対策は？

A 神奈川県を受けました。神奈川県の過去問を解く。神奈川県で過去に出された面接の質問の答えを考え、言えるようにする。二次試験の模擬授業を先生方に見ていただき、指摘していただいた点を改善し、何度も練習する。ピアノ(小学校)の練習をする・・・といったことをしました。

Q 教職ナビについて

①どのような点が良かったですか？

A 教職を目指す上で必要な「情報」をすぐに知ることができたり、同じ目標を目指す「仲間」と共に頑張ることで、教員になるという強い意志を最後まで維持することができたことです。

②教職ナビでは、どのような活動をしましたか？

A 模擬授業やディスカッションなど様々な活動をしました。それらを通して、教員として必要な資質が磨けたと思います。

Q 面接対策はどのようにしていましたか？

A 一人ではできない面接や討論の練習は、教職教育部の先生方に見ていただきました。質問に対するベストな答えや、直さなければならない自分の弱点を丁寧に教えていただきました。それを何度も繰り返し、練習を積み重ねることで自信を持って返答できるようになりました。

Q 来年から教壇に立つわけですが、どのような先生になりたいですか？

A 子どものことを第一に考え、常に向上心を持って、子どもと共に成長していきたいです。

Q 後輩にメッセージをどうぞ。

A 勉強はしんどいです。教員になりたいという気持ちを試されていると思って頑張ってください。努力の分の結果を信じ、つらい時は友達に相談し、共に頑張ってください。